

I

平成30年度
福岡市博物館事業報告

福岡市博物館

Fukuoka City Museum

1. 特別展 自主企画

浄土九州-九州の浄土教美術-

9月15日(土)～11月4日(日)

観覧者数：21,001人

九州の浄土信仰が生んだ極楽浄土図、地獄図、来迎図、阿弥陀如来像など約200点を展示し九州の浄土信仰の特質に迫った。



極楽あり。

西方に、

特別展

九州の浄土教美術

浄土

九州

利永陀如来坐像 鎌倉時代 福四・高行寺

Kyushu, The Pure Land -The Pure Land Buddhism Art of the Kyushu Region-

開館時間：9時30分～17時30分 (入場は17時まで)
会場：福岡市博物館 特別展示室
休館日：毎週月曜日 (ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は翌平日休館)
観覧料：一般 1,300円 (1,100円)、高大生 900円 (700円)
※中学生以下無料。※()内は団体、20人以上の団体、満65歳以上(シルバー)手帳等の年齢を証明できるものを提示し、別冊の方(パスポート、住民カードなど照像の貼付できるものを提示)の割引料金。※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳(以上3つを提示した人の介護者1人を含む)、特定高齢者福祉給付金受給者、特定障害者(特定要介護)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証を提示の場合は無料。
【チケット取扱い】
クーポンチケット (1000円 2000円)、チケットぴあ (伊豆山 700円・1500円)、セブンイレブン、イープラス、ファミリーマートほか、主要プレイガイドにて9月15日(土)から発売開始。
※各チケットは開館日の前日の午後5時(プレイガイドによっては開館前日午後5時)まで有効です。
【主催】福岡市博物館、西日本新聞社、TVQ九州放送、【協賛】福岡文化財団 【特別協力】学校法人筑紫女学園【後援】福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、FM FUKUOKA、cross the LOVE FM、西日本放送、九州朝日放送、(一社)日本経済新聞福岡支店、(一社)福岡市タクシー協会、(一社)日本旅行振興会、西日本新聞TN C文化サークル、西日本文化サークルの連合
福岡市博物館 Fukuoka City Museum 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1 TEL: 092-845-5011 FAX: 092-845-5019 <http://museum.city.fukuoka.jp/>
THE FUKUOKA CULTURAL FOUNDATION beyond 2020

2018年9.15(土)→11.4(日)

毎週2回のギャラリートーク

1. 特別展 自主企画

お坊さん ライブシアター

9月30日(日)「法然上人・聖光上人一代記」
10月14日(日)「浄土教の視点より お釈迦様一代記」
浄土宗教師有志の会

講演会

9月29日(土)「仏教における浄土思想」
筑紫女学園大学 中川正法 学長
10月13日(土)「救いのほとけ 阿弥陀信仰の造形」
弘前大学 須藤弘敏 教授

落語

10月7日(日)「地獄八景亡者戯」川崎亭好朝

トークショー

9月20日(木) 「笑い飯哲夫のおもしろ仏教講座」



1. 特別展 自主企画

第30回新収蔵品展

ふくおかの歴史とくらし

1月24日(木)～2月17日(日)

博物館開館準備室から続く、寄贈者と博物館をつなぐ重要な事業。資料収集件数は、累計約17万件にのぼる。



感謝状贈呈式及び目録発行



同時開催

新春特別公開 黒田二十四騎画帖

第30回
新収蔵品展
The 30th Annual Exhibition of
New Acquisitions

ふくおかの
歴史とくらし

本展覧会では当館が平成27年度に
収集した資料をご紹介します

平成31年1月24日(木)▶2月17日(日)

[休館日] 1月28日(月)・2月4日(月)・12日(火)
[開館時間] 9:30▶17:30(入場は17:00まで)
[観覧料] 一般200円(150円)・高大生150円(100円)
中学生以下無料／常設展・企画展と共通料金
割引等の詳細は福岡市博物館にお問い合わせ下さい
[会場] 福岡市博物館 特別展示室A

新春特別公開
黒田二十四騎画帖
[会場] 特別展示室B [期間] 新収蔵品展に同じ

福岡市博物館
Fukuoka City Museum
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1
TEL: 092-845-5011 FAX: 092-845-5019
http://museum.city.fukuoka.jp/

1. 特別展 共催・企画

レオナルド・ダ・ヴィンチと 「アンギアーリの戦い」展

～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～

4月6日(金)～6月3日(日)

観覧者数：103,232人

未完のまま姿を消したレオナルド・ダ・ヴィンチによる大壁画《アンギアーリの戦い》。最大の手がかりとなる油彩画《タヴォラ・ドーリア》を中心に、幻の壁画の謎と魅力に迫った。

関連イベント

記念講演会「タヴォラ・ドーリアとの対話」

4月7日 東京富士美術館長 五木田聡氏

「モジュラルテ室内楽団クラシックコンサート」

5月11日(金) 18:15～19:00



1. 特別展 共催・企画

ボストン美術館浮世絵名品展 鈴木春信

7月7日(土)～8月26日(日)

観覧者数：37,054人

本展では世界一の鈴木春信（1725?-1770）
コレクションを誇るアメリカ・ボストン美術
館から、選りすぐりの150点を紹介。

関連イベント

「かんたん！春信の空摺風オリジナル
メッセージカードを作ろう」

「山田全自動とめぐる！

春信展みどころダイジェスト」 ほか



1. 特別展 共催・企画

「幽霊・妖怪画の世界」展

鈴木春信展と同時開催

観覧者数：25,431人

福岡市博物館が誇る日本屈指の幽霊・妖怪画コレクション
約50点を紹介

関連イベント 「妖怪ナイト」

8月10日(金) 17:00～20:00



日韓おばけギャラリートーク



百鬼繚乱ぬり絵



目指せ！ようかいハンター

1. 特別展 貸館

名探偵コナン科学捜査展 真実への推理

11月17日(土)～1月14日(月・祝)

主催：読売新聞社・FBS福岡放送・東映

観覧者数：40,161人

「名探偵コナン」の世界観をベースに、様々な手がかりを集めながら、事件の真相を追う参加者体験型の展示。



ジブリ大博覧会

3月15日(金)～6月23日(日)

主催：FBS福岡放送・西日本新聞社
スタジオジブリ



2.企画展示（4つの企画展示室）

市美×市博 黒田資料名品展シリーズなど
年間24もの多様な展示を企画

考古
民俗
歴史
古美術
各分野の企画展示



「ゆるカワ日本美術」

国宝 刀 名物「圧切長谷部」展示

平成31年1月5日（土）～2月3日（日）

※今年度は「刀剣乱舞」とのコラボは無かったものの
昨年度比75%（1月入館者13,026人：12月比2.08倍）



「黒田家の具足とお守り」

3.教育普及プログラム

教育普及専門員3名、教育普及担当主査を配置し、各種プログラムを実施

博物館体験学習事業（小中学校）

小中学校、特別支援学校を対象に博物館で学習事業を実施。地域の歴史遺産に関連した常設展示も紹介。（30年度 小学校 5校 305名、中学校 4校 199名）

出前学習事業（小学校）

博物館から講師を派遣し、歴史学習の一環として「体験重視」の出前授業を実施。

封泥体験、勾玉づくり等 （30年度 67校 6,329名）

こども博物館

夏休み、冬休み、春休みに、小学生等対象に、金印レプリカを使った封泥体験を実施

（8月8・9日173名、12月22日89人、3月23日）

博物館出前講座・職員依頼講座

赤坂小学校・香椎第二中学校・四箇田公民館など



3.教育普及プログラム

「中学校社会科研究会＋博物館＋α」研修会

8月3日（金） 13：30～16：30

中学校社会科教員29名＋博物館職員10名＋文化財部職員1名

スケジュール

- 1 常設展示室案内
- 2 福岡市博物館がやっている子ども向け事業
- 3 ワールドカフェ

「これから学校と博物館で何ができるだろう？」

4.地域連携

志賀島

地元や九州大学と共同して各種事業
「志賀海神社七夕祭参加」
「金印まつり」参加

小呂島

文化財活用部と共同で、子ども達と一緒に
島内資料調査

志賀海神社
七夕祭
8/6^月7^火

8月6日	8月7日
05:30 開門	05:30 開門
09:00 七夕朝祭	09:00 七夕祭
16:00 七夕夕祭	
17:00 竹あそび 18:00 金印太鼓 普通パフォーマーダンス 紙灯籠・子ども灯籠点灯	17:00 竹あそび 18:00 風灯籠・子ども灯籠 8月6日～12日 志賀島西船場公園 志賀島今昔物語 写真展示

6・7日
夕方より
夜店も
あります

主催／志賀海神社 ■お問い合わせ
電話 092(603)6501
協力／福岡市、志賀島自治連合会 志賀島よかこ二隊、志賀商工会 青年部、金印太鼓、
T.BAMBUS、福岡電気工事、福岡
参加団体／(4) R.G.アランニング、一番屋、なごみ会



5.ユニバーサル

○金印ユニバーサル博物館

みたいけんラボを中心にUDグッズを触れるように展示

○金印ユニバーサル博物館 in 照葉

新しい総合体育館での出店・体験コーナー

○視覚障がい者団体との連携企画 「郷土の歴史を学ぶ」

福岡市視覚障害者福祉協会と共同で、視覚障害者の方に、郷土の歴史を学ぶ講座・WSを開催

○特別展での外国語キャプションの制作 九州大学留学生と協力した取り組み

特別展「ボストン美術館名品展」で九州大学の留学生と連携して、外国語キャプションを制作



6. その他

ミュージアム・ウィーク

5月12日(土)～5月20日(日)

福岡市内の博物館・美術館等が実施。
博物館では、講演会・バックヤード
ツアー・スタンプラリー等を実施。



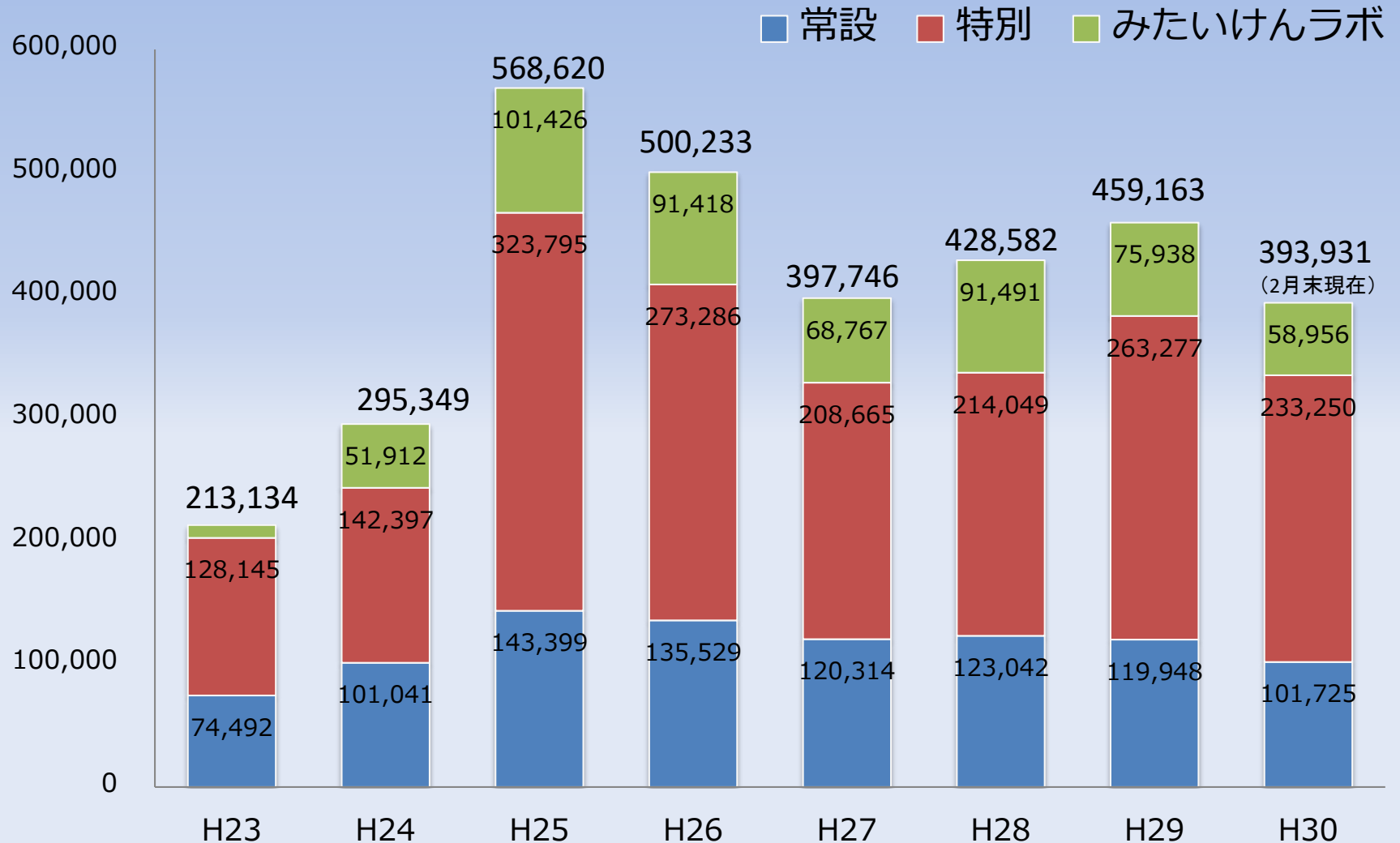
トワイライトミュージアム

夏休み期間(7/21～8/26) の
金・土・日、8/13,14,15日は
20時まで開館延長。

利用しやすい時間帯に
変更し利用者が増加。



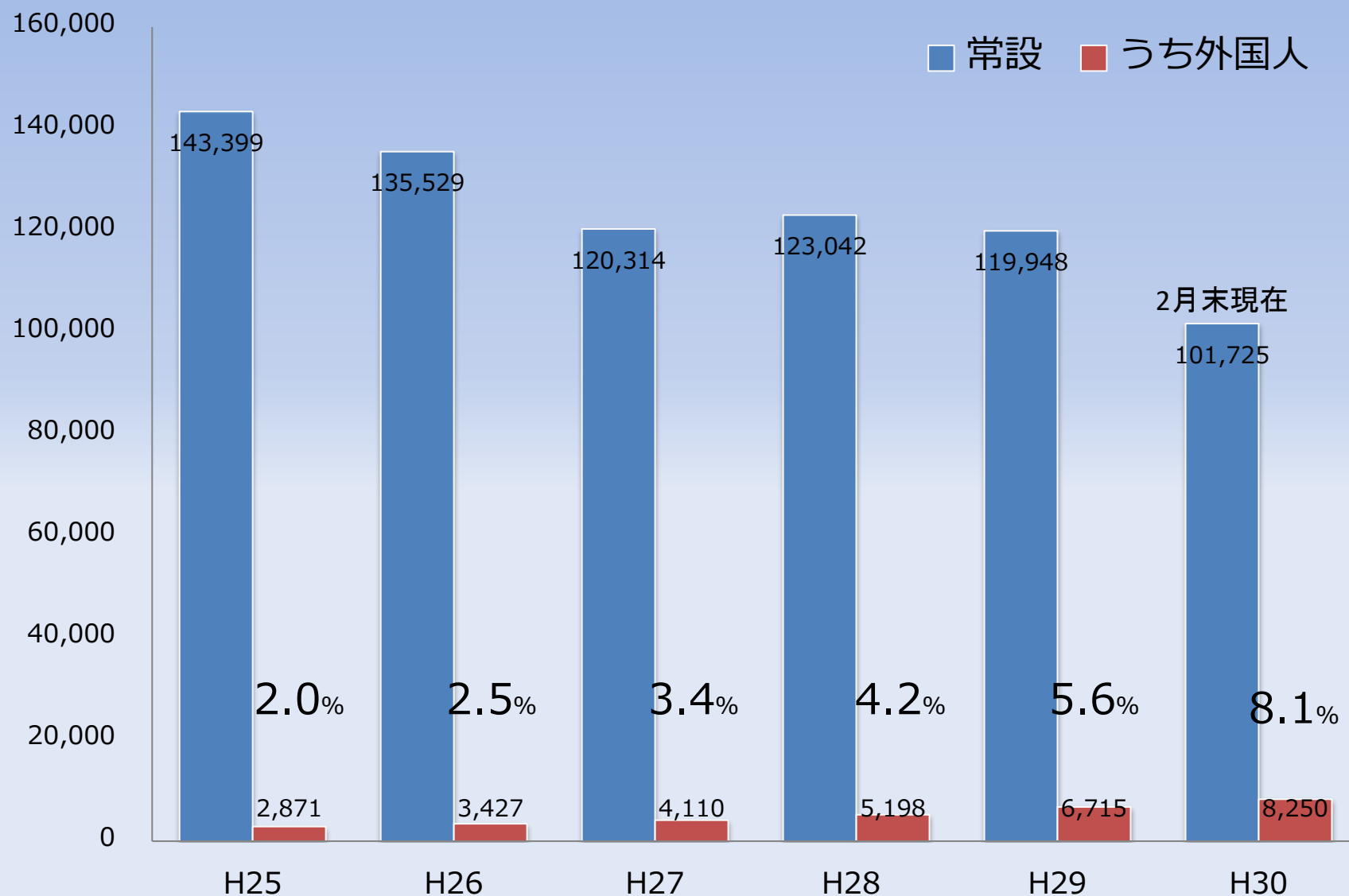
福岡市博物館利用者数推移



H23.11.7～H24.4.2 空調設備等改修のため休館

H25.1.5～H25.11.2 リニューアル工事のため常設展を閉室

福岡市博物館 常設展利用者数推移



Ⅱ

平成31年度 福岡市博物館事業計画

福岡市博物館

Fukuoka City Museum

1. 特別展 自主企画

侍-もののふの美の系譜-

9月7日(土)～11月4日(月・祝)

- 1 刀剣と甲冑の歴史的変遷を紹介する初めての大展覧会！
- 2 展示品の6割が国宝・重要文化財！
- 3 全国各地の名宝を一挙大公開！
- 4 名だたる武将ゆかりの武具を出品！

国宝・太刀 銘 光世作【名物 大典太】

天下五剣の一つ。福岡(三池)で作られた最高傑作！

国宝・刀 金象嵌銘 正宗本阿花押／本多中務所持【名物 中務正宗】

国宝・太刀 銘 筑州住左【名物 江雪左文字】ほか名物刀剣多数

戦場に花開いた日本美術の精華～刀剣・甲冑～一挙大公開！
2019年はラグビーワールドカップ開催の年
—世界から強者が日本に集う、福岡にSAMURAIの優品が集う—

来秋、甲冑・刀剣の名宝を
福岡市博物館で一挙大公開!!



1. 特別展 共催・企画

長くつ下のピッピの世界展

7月6日(土)～8月25日(日)

主催 福岡市博物館・RKB毎日放送・
読売新聞社・東映

日本・スウェーデン外交関係樹立150周年を記念して、スウェーデン王立図書館所蔵、ユネスコ世界の記憶に登録された「長くつ下のピッピ」等の貴重な原画をはじめ、作者であるアストリッド・リンドグレン関連の資料約200点を展示。

またスウェーデンの生活文化・自然との共生・子育てといったテーマにも焦点をあてた構成となっている。



1. 特別展 共催・企画

国芳から芳年へ 「挑む浮世絵」展

11月16日(土)～12月22日(日)

主催：福岡市博物館・西日本新聞社・
T V Q九州放送

「奇想の絵師」として人気のあった幕末の浮世絵師歌川国芳と、その弟子で「最後の浮世絵師」と称される月岡芳年を中心に、国芳が切り開いたさまざまな新生面を弟子たちがいかに継承、変化させていったのかをたどってみる展覧会で、名古屋市美術館の所蔵品から構成されるものです。



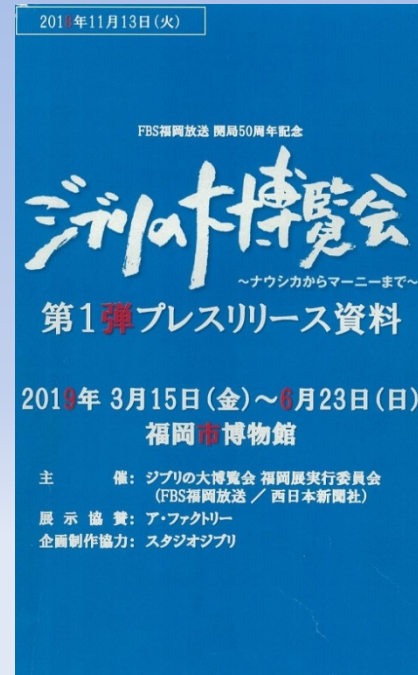
1. 特別展 貸館

ジブリ大博覧会

2019年3月15日(金)～6月23日(日)

主催：FBS福岡放送・西日本新聞社

スタジオジブリ



P I X A R (予定)

2020年3月20日(金・祝)～6月14日(日)

2. 企画展示

展示室 1 - (1)

31年度も企画展示室 4 室で24回の 企画展を実施

主な展示

- 「戦争と私たちの暮らし28」
- 「福岡城下で暮らす」
- 「死絵一明るく笑ってさようなら」
- 「筑紫でうたを詠んだ人」
- 「市制施行 130 周年記念
福岡市これまでとこれから」
- 「ふくおか発掘図鑑10」
- 「古代と暦」
- 「博多祇園山笠展19」
- 「チベットのマンダラ」



3.教育普及プログラム

31年度も引き続き各種プログラムを実施

博物館体験学習事業（小中学校） ・ 出前学習事業（小学校）

こども博物館

博物館出前講座 ・ 各種講座依頼派遣 の実施

（31年4月より公募による新しい教育普及員）

4.地域連携

5.ユニバーサルミュージアム

6.その他

31年度も、30年度事業の継続（協議中）

Ⅲ

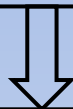
新しい博物館を目指して

福岡市博物館

Fukuoka City Museum

新しい博物館を目指して

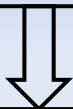
博物館は、昭和63年11月竣工から30年を経過



博物館内の様々な設備の交換時期



平成32年度末・・・受配電設備の交換



さらに給排水設備・空調・電気系統などなど

福岡市美術館と同様、
数年間の休館を伴う大規模改修の可能性が大

新しい博物館を目指して

今後、大規模改修事業を実施していく中で、
PPP（官民連携事業）も含めて検討

（参考）市美術館

平成23年度 リニューアルの検討開始

平成25年度 官民協働事業（PPP）に関する検討の結果PFI事業が最適との結論

平成26年度 PFI事業実施の決定

平成27年度 入札公告→事業者の決定

平成28年9月～平成31年3月まで改修工事に伴う休館

指定管理制度とは（wikipediaより）

地方公共団体や外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。

PFI事業とは（wikipediaより）

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

① 改修方針

- 我が国を代表する建築家である故・前川國男氏の建築意匠と美術館の建物自体を後世に継承し、市民の誇りとなる美術館として整備する
- 市民の貴重な財産である美術品の展示、保存などの基本機能向上、ユニバーサル化や環境負荷の軽減、親しみやすく快適な場を提供する
- 集客・交流拠点として魅力あふれる美術館へリニューアルするため、リニューアル後の美術館運営に効果的な施設・設備の改修を行う

② 配慮事項

- 新アプローチやカフェ、レストランなどの整備における魅力向上への配慮
- 新アプローチ・カフェのデザインなどにおける公園全体に調和した景観への配慮
- エレベーターの拡幅、多目的トイレの新設などによるユニバーサルデザインへの配慮
- 設備機器の全面更新、LED照明器具の導入などにおける省エネルギー対策への配慮
- 館内で発生する騒音や振動への対策による、展示室などにおける静粛な室内環境への配慮
- 展示室や収蔵庫の改修による美術品保存環境改善への配慮

○施設改修等計画（1階）※主なもの

青字: 拡充、改修 赤字: 新設、移設

1) 収蔵庫の拡充・改修

課題: 「施設設備の老朽化による収蔵機能の低下」
「収蔵庫のスペース不足」

- 空調設備更新、内装改修による機能回復
- 収蔵庫の拡充により適切なスペースを確保
* 格納庫等（青点線部分）を収蔵庫へ改修
（H26年度完了予定）
* 5室（約1,400㎡）⇒6室（約1,600㎡）

3) ミュージアムショップ移設

課題: 「便利施設の魅力向上」

- 1階ロビー階段収抜け付近に魅力あるショップを新たに整備
（現在2階にあるブックショップを移設）

4) 講堂改修

課題: 「多様な利用への対応」

- 防音のための前室新設、座席レイアウト変更、音響機器の更新など
- 講演会のほか、上映会、演劇、コンサートなど多様な利用に対応（約210㎡）

5) 多目的スタジオ新設

課題: 「様々な教育普及活動への対応」

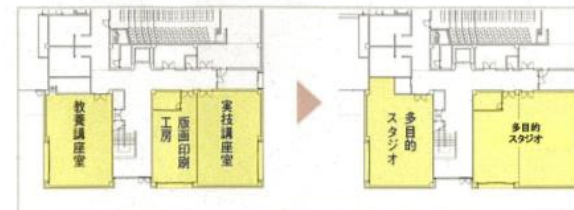
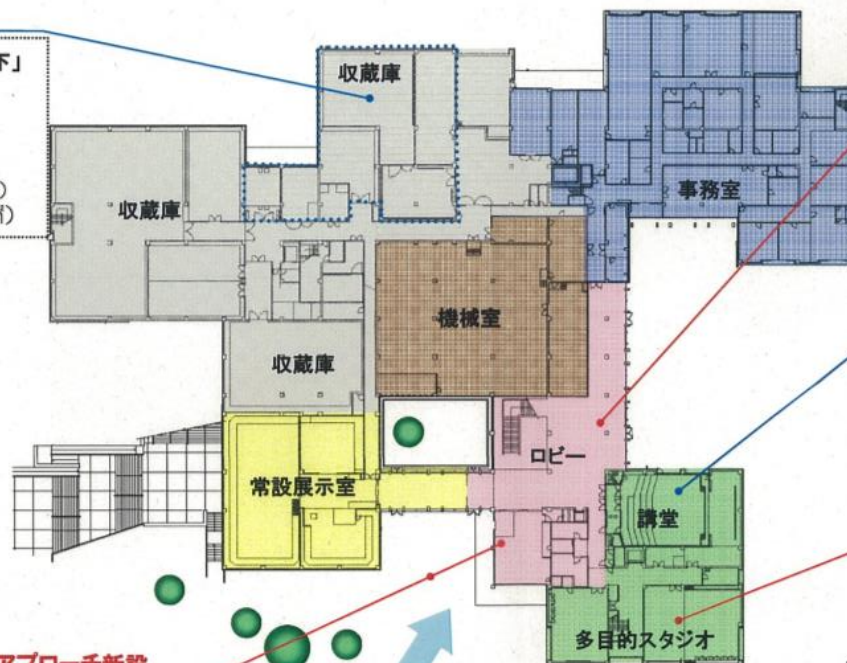
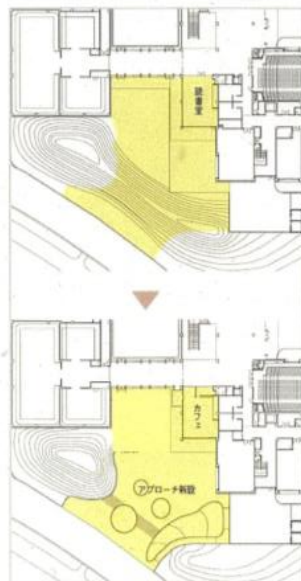
- 実技講座室外2室を多目的スタジオに改修
- 講義のほか、ワークショップ、パフォーマンス活動などに対応（約340㎡）

2) カフェ・アプローチ新設

課題: 「館内への誘導力の向上」
「便利施設の魅力向上」
「ユニバーサル化の推進」

- 読書室をカフェに改修（約110㎡）
- 大濠公園園路からロビーとカフェへのアプローチ新設による誘導力強化

大濠公園園路



＜多目的スタジオ新設＞

新しい博物館を目指して

30年度下半期

- 他館の状況調査
- 博物館内での全職員を対象にした共有化作業

1 コンセプト・ミッション

各地の博物館のコンセプト等を調査
当館のコンセプトについての簡単な論議

2 施設の改修

レストラン・ショップ・講堂などのあり方についての検討

3 ボランティアの導入

各地の博物館のボランティア等を調査

全国の博物館の理念、使命、目標（一部）

館名	仕分け	理念、使命、目標など	分類	キーワード
北海道博物館	02資料収集と保存	北海道のすべての人、生き物、大地と海が生み出し、残し託してくれた、北海道ならではの自然・歴史・文化に関わる遺産を、わたしたちの大切な宝ものとして未来へとつなぎ、語り伝えることをとおして、道民が北海道を知り、誇りを確認する場であり続けます。	使命	資料の保存、継承、誇り
北海道博物館	03調査研究	北海道の自然・歴史・文化に関する総合的な研究機関として、北海道の国際化・文化力の向上や、持続可能な調和社会の構築をめざして、積極的なビジョンの立案・提言に努め、道民の豊かな暮らしづくりと北海道の未来づくりに貢献します。	使命	研究機関、未来づくり
北海道博物館	09居心地	野幌森林公園という豊かな自然環境のなか、訪れた方々に北海道の自然・歴史・文化を総合的に体感していただくとともに、知的発見、癒やしとくつろぎ、世代を超えた語り合いや出会いを、おもてなしの心で提供し、道民に愛される博物館であり続けます。	使命	もてなし
北海道博物館	11中核機能	北海道の中核的博物館として、道内の博物館等との連携により、北海道再発見のための知のネットワークを築き上げるとともに、北海道の自然・歴史・文化に関する身近な相談窓口として、道民の「知りたい」という気持ちに応えます。	使命	中核機能、連携、相談窓口
秋田県立博物館	01全体ざっくり	県民と一体となった魅力的で活力ある博物館	理想像	住人と一体
秋田県立博物館	05学び	学習の場を創造する博物館	理想像	学習の場
秋田県立博物館	05学び	郷土を知る手がかりの豊富な博物館	基本方針	郷土を知る
秋田県立博物館	07交流	交流のできる博物館	基本方針	交流
秋田県立博物館	08地域	秋田の地域性を生かした総合博物館	理想像	ローカル色
秋田県立博物館	08地域	地域文化の理解をとおして世界に視野が広がる博物館	基本方針	地域
秋田県立博物館	09居心地	利用しやすい博物館	基本方針	利用
秋田県立博物館	11中核機能	地域文化の伝承と創造の核となる博物館	理想像	地域の核
岩手県立博物館	02資料収集と保存	岩手の自然や人間の営みの証拠となる資料の収集・保存並びに被災文化財等の修復・保存に努め、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。	使命	資料の保存、継承
岩手県立博物館	05学び	さまざまな機関との連携を強化し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手の教育・学術・文化の振興・発展、地域づくりに貢献します。	使命	諸機関との連携、住人の知的活動寄与、地域づくり、
岩手県立博物館	05学び	開かれた博物館として、県民との積極的な交流を進め、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。	使命	交流、学習の場、学校教育
岩手県立博物館	11中核機能	社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備を進め、いわての自然史・文化史の拠点となることを目指します。	使命	知の拠点
東北歴史博物館	01全体ざっくり	既存の博物館のイメージを脱皮し、類例のない新しい博物館のあり方を追求します。	使命	挑戦
東北歴史博物館	04情報発信	東北の姿を自ら再発見し、東北の存在を広く世界に発信することにより、国際化の時代にふさわしい地域づくりとその活性化に貢献します。	使命	発見、発信、地域づくり
東北歴史博物館	07交流	「明日の東北」を考えるきっかけづくりを重視し、実社会と積極的に交流する博物館を目指します。	使命	交流、未来づくり
山形県立博物館	05学び	集めて、伝える博物館の基本的な活動に加え、県民とともに資料を探索し、知の楽しみを分かち合う博物館文化を創造する。	基本方針	博物館文化
山形県立博物館	05学び	地域文化・社会教育の中核的拠点として、生涯学習や交流の場及び成果を生かす機会を提供し、県民に親しまれ信頼される博物館をめざす。	基本方針	生涯学習
山形県立博物館	11中核機能	山形県第5次教育振興計画の見直し等を踏まえ、本館、教育資料館、附属自然学習園それぞれの機能を充実と、総合博物館の特色を生かした運営に努める。	基本方針	中核機能
福島県立博物館	02資料収集と保存	ふくしまを元気に博物館／東日本大震災によって危機的な状況に陥っている地域の文化・自然遺産を保存し、調査研究するとともに、それらを活用して、地域社会の再生と活性化に向けた新たな取り組みを行います。	使命	保存、地域再生活活性化

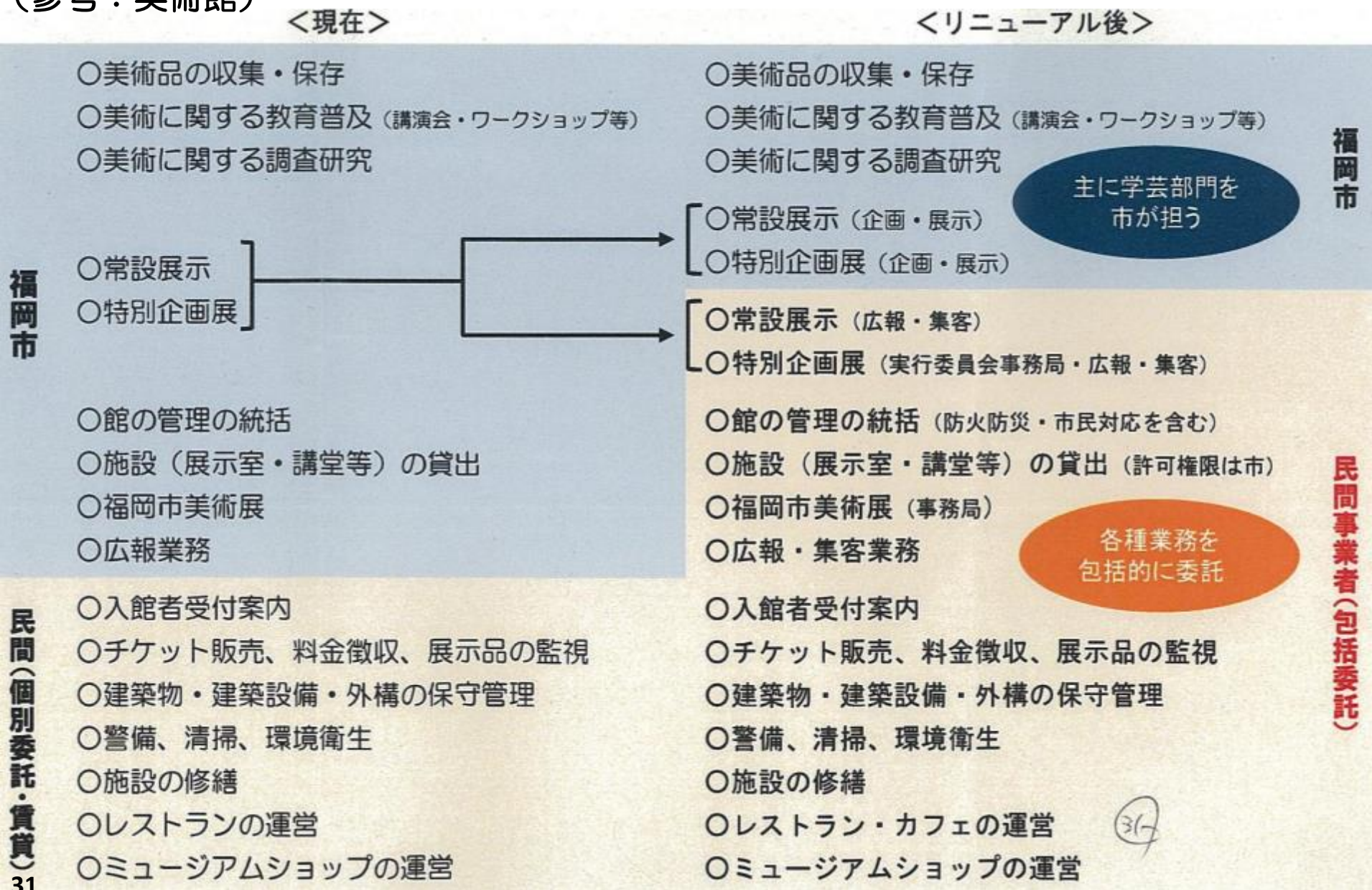
ボランティア一覧（一部）

番号	分類	館名	名称	対象（年齢）	任期	活動内容	支援・補助	事前研修等
1	歴 自	北海道大学総合博物館	ボランティア	推薦	－	16のボランティアグループ	講座（年2回）、交流会あり	－
2	美	北海道立帯広美術館	しらかばの会	－	－	① ミュージアムショップの運営 ② 喫茶室の運営 ③ 図書・新聞資料の整理 ④ 展示室の監視・案内 ⑤ ワークショップ	－	－
3	自	札幌市青少年科学館	天文指導員	－	－	① 天文啓発活動育成、普及事業への参加	－	天文ボランティア養成講座
4	歴	地底の森ミュージアム（宮城県）	ボランティア	18歳以上（高校生不可）	1年間（更新可）	① 展示解説 ② 古代米づくり ③ イベント補助	事前オリエンテーション、新規ボランティア養成講座	交通費支給
5	自	青森県立三沢航空科学館	ボランティア	－	－	8つの分野の分かれて活動	交通費、昼食費一定額支給	接遇、展示案内、機器操作等
6	美	秋田県立近代美術館	AMC（アムック）	高校生以上	1年間	① 展示室活動・案内 ② 事務補助 ③ 自己研修 ④ イベント補助、印刷物作成等	年会費1000円必要	研修
7	歴 民	館山市立博物館（千葉市）	ミュージアムサポーター	－	－	－	－	養成講座
8	美	富弘美術館（群馬県）	富弘美術館サポーター	特になし（年10回以上の参加）	1年更新	① 草花・花木・芝の手入れ、植栽、除草等 ② 展示室の監視、チケットのめぐり、館内ガイド ③ ホームページ更新、アンケート集計等 ④ 朗読会、広報等	－	－
9	文	市川市文学ミュージアム（千葉県）	文学サポーター	－	－	① 展示室案内 ② 資料調査活動 ③ イベント受付、チラシ発送等 ④ 協働企画展	－	－
10	自	高尾599ミュージアム（八王子）	ボランティア	13歳以上（5名程度）	1年間（最長5年）	① 解説（展示品、高尾山）	事前研修あり	制服（ベスト）貸与

新しい博物館を目指して

4 PPPを導入した場合の官民の業務分担

(参考：美術館)



新しい博物館を目指して

今後のスケジュール

2019(平成31)年度・・・施設の長期保全計画の作成



大規模改修案の検討



博物館におけるPPP可能性の検討
(コンセプト等の検討)

2020年度・・・・・・・・・・受配電設備の交換(短期休館)・・・予定



X年度

大規模改修



リニューアル開館

評価の実施検討・・・まずは自主評価の実施計画作成

新しい博物館を目指して

31年度にすべきこと

コンセプト・ミッション素案

- 福岡らしさ
- 博物館の基本的業務
- 地域・UD・学校・・・
- にぎわい
- アジア

施設改修計画素案

- 収蔵庫
- ミュージアムショップ
- レストラン・カフェ
- こども・・・

FIN